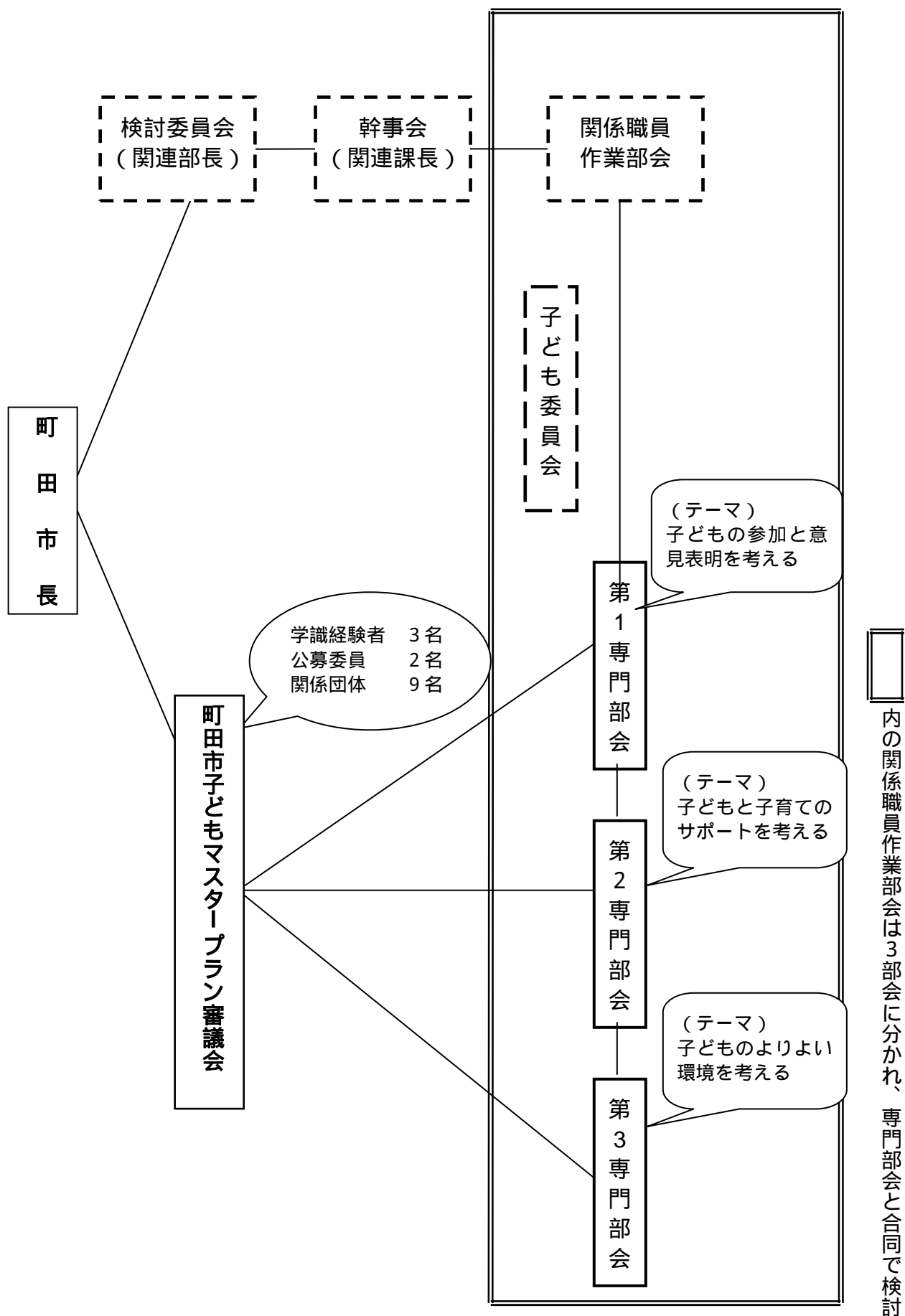


# 資 料

# 1. 町田市子どもマスタープラン策定体制



## ２．町田市子どもマスタープラン審議会

### ( １ ) 町田市子どもマスタープラン審議会委員名簿

氏 名	所属団体等	所属部会等
森田 明美	東洋大学社会学部社会福祉学科教授	審議会・会長 第二専門部会・部会長
仙田 満	東京工業大学工学部建築学科教授	第三専門部会・部会長
安部 芳絵	早稲田大学文学部教育学専修助手 (ファシリテーター)	第一専門部会 子ども委員会
南部 和彦	町田市公立小学校長会 (南成瀬小学校長)	第三専門部会・副部会長
高橋 博三	町田市公立中学校長会 (町田第一中学校長)	審議会・副会長 第一専門部会・部会長
河村 晴子	町田市内都立学校長会 (都立小川高等学校長)	第一専門部会 ( 2 0 0 4 年 3 月 まで )
安田 健	町田市内都立学校長会 (都立野津田高等学校長)	第一専門部会 ( 2 0 0 4 年 4 月 より )
湯目 英人	町田市私立幼稚園協会 (開進幼稚園長)	第二専門部会
関野 壽生	町田市法人立保育園協会 (小野路保育園長)	第二専門部会
笠原 良子	町田市青少年委員	第二専門部会
山崎 喜代三	町田商工会議所(専務理事)	第三専門部会
永井 和子	育児サークル (子育てアドバイザー)	第三専門部会
岡本 恵子	青少年活動団体 (子ども広場を考える会代表)	第一専門部会・副部会長
肥後 美智子	公募市民	第一専門部会
杉田 研一	公募市民	第二専門部会

## ( 2 ) 町田市子どもマスタープラン子ども委員会委員名簿

氏名	学年	備考
草野 大輔	高校3年生	委員長
吉田 歩	高校1年生	
井 真歩	高校1年生	
伊藤 友美	高校3年生	
鈴木 優美	高校3年生	
眞鍋 昭大	高校1年生	
渡辺 桃子	高校1年生	
田中 俊資	高校2年生	
辻 加奈子	高校2年生	
田本 勇二郎	中学3年生	
登 聖美	高校2年生	
井上 由梨奈	高校3年生	
岩下 舞	高校1年生	
大音 智海	中学2年生	2004年 1月より
工藤 瞳	中学1年生	2004年 9月より
森口 歩	中学1年生	2004年 9月より

子ども委員会について26ページに概要が掲載されています。

( 3 ) 町田市子どもマスタープランの策定について ( 諮問 )

03 町子総第 925 号  
2003 年 11 月 14 日

町田市子どもマスタープラン審議会  
会 長 森 田 明 美 様

町田市長 寺 田 和 雄

町田市子どもマスタープランのあり方について ( 諮問 )

近年の子どもたちを取り巻く社会・生活環境は、都市化や少子化を背景に大きな変容を遂げてきており、子どもの育ちや子育てにとって、その将来が危惧される状況となってきました。

今般、家庭、地域、社会、行政が協働して次世代を育成するという視点から、基本的、総合的な指針を明示することが大きな課題となっています。

これらの状況を踏まえ、次世代育成支援対策推進法（平成 15 年法律第 120 号）第 8 条に基づく市町村行動計画を含む子どもマスタープランを策定するにあたり、貴審議会のご答申をいただきますようお願いいたします。

( 4 ) 町田市子どもマスタープランの策定について ( 答申 )

2004年10月26日

町田市長 寺田和雄様

町田市子どもマスタープラン審議会  
会長 森田明美

町田市子どもマスタープランの策定について ( 答申 )

2003年11月14日に、本審議会に対し諮問のあったことについて、市民代表及び各関係機関の代表委員と共に策定作業を進めてまいりました。また、中学生・高校生による「子ども委員会」を設置し、子ども自身の声を聴くことを大切にしながら、熱い議論を展開してまいりました。

その結果、町田市が今後求められる子どもや家族に対する基本姿勢と目指すべき方向について、別紙のとおり子どもマスタープラン案をまとめましたので、ここに答申します。

つきましては、子どもを取り巻く環境が大きく変わり続けている現在、子どもや子育て家族が抱える問題について、全庁的な取り組みがなされ、計画実施が円滑に推進されることを望みます。

## (5) 町田市子どもマスタープラン審議会・専門部会・作業部会開催状況

## 審議会

回数	開催日	審議内容
第1回 審議会	2003年11月14日(金)	・委員委嘱・策定にあたっての基本事項について ・ニーズ調査について
第2回 審議会	2004年11月28日(金)	・アンケート調査について ・専門部会について
第3回 審議会	2004年 4月30日(金)	・子ども調査とニーズ調査の結果報告 ・重点施策の検討
第4回 審議会	2004年 8月 3日(火)	・中間報告案について
第5回 審議会	2004年10月 1日(金)	・答申に向けてのまとめ

## 第1専門部会

回数	開催日	審議内容
第1回	2003年12月15日(月)	・町田市子ども事業の現状について ・専門部会の今後の進め方について
第2回	2004年 1月14日(水)	・子どもの参加と意見表明試案について ・課題の整理
第3回	2004年 2月20日(金)	・子どもの参加と意見表明の必要性和意義について
第4回	2004年 3月18日(木)	・子どもの参加と意見表明の進め方について
第5回	2004年 4月23日(金)	・子どもの参加と意見表明をするための取り組みとその体制
第6回	2004年 5月21日(金)	・子どもの参加と意見表明をするための取り組みとその体制
第7回	2004年 6月26日(土)	・子どもの参加と意見表明のあり方
第8回	2004年 7月22日(木)	・基本方針・重点施策について

## 第2専門部会

回数	開催日	審議内容
第1回	2003年12月13日(土)	・次世代育成行動計画策定に向けての調査について ・専門部会のテーマ・スケジュールについて
第2回	2004年 1月22日(木)	・働きながら子育てをしている家庭への支援について
第3回	2004年 2月10日(火)	・幼稚園・保育園・小学校とのつながり
第4回	2004年 3月 4日(木)	・地域子育て支援ネットワークの充実
第5回	2004年 4月16日(金)	・次世代育成支援ニーズ調査について ・妊娠期から就学前・小学校への親子のつながり
第6回	2004年 5月13日(木)	・次世代育成支援ニーズ調査報告 ・ひとり親・国際結婚家庭調査報告 ・つながりの仕組みづくり
第7回	2004年 6月11日(金)	・基本方針・重点施策について
第8回	2004年 7月15日(木)	・基本方針・重点施策について

## 第3専門部会

回数	開催日	審議内容
第1回	2003年12月10日(水)	・町田市子ども事業の現状について ・専門部会の今後の進め方について
第2回	2004年1月13日(火)	・今後の進行スケジュールについて ・「豊かな遊び体験の場」について
第3回	2004年2月18日(金)	・充実した地域活動について
第4回	2004年3月11日(木)	・安心して子育てができる住環境について
第5回	2004年4月15日(木)	・開かれた学校について
第6回	2004年5月19日(水)	・情報の収集・発信の拠点づくり ・情報化社会における地域づくり
第7回	2004年6月24日(木)	・現状・課題・方策についての整理 ・作業部会から具体的方策の提示
第8回	2004年7月16日(金)	・基本方針・重点施策について

## 子ども委員会

回数	開催日	審議内容
第1回	2003年12月23日(火)	・子ども委員会の今後の進め方について ・子ども委員会のルールづくり
第2回	2004年1月24日(土)	・子どもの権利学習と問題意識の明確化
第3回	2004年2月28日(土)	・子どもの権利学習と問題意識の明確化
第4回	2004年3月20日(土)	・子ども調査の準備 (アポイント練習・インタビュー練習)
第5回	2004年4月4日(日)	・子どもセンターばあんへ子ども調査
第6回	2004年5月9日(日)	・子ども調査の報告
第7回	2004年6月26日(土)	・子どもの参加と意見表明のあり方について第一 専門部会との合同会議
第8回	2004年7月20日(火)	・子どもマスタープランについて
第9回	2004年9月5日(日)	・子どもマスタープランについて
第10回	2004年10月3日(日)	・今年1年間の活動のまとめ



### 3. 町田市子どもマスタープラン庁内策定組織

#### (1) 町田市子どもマスタープラン検討委員会メンバー

委員長	子ども生活部担当助役
副委員長	子ども生活部長
委員	企画部長
〃	総務部長
〃	市民部長
〃	市民部生活文化担当部長
〃	健康福祉部長
〃	健康福祉部保健介護推進担当部長
〃	環境・産業部長
〃	建設部長
〃	都市計画部長
〃	市民病院事務長
〃	学校教育部長
〃	生涯学習部長

## (2) 町田市子どもマスタープラン幹事会メンバー

幹事長	子ども生活部子ども総務課長
幹事	企画部企画調整課長
〃	総務部職員課長
〃	市民部市民活動振興課長
〃	市民部男女平等推進センター所長
〃	健康福祉部福祉総務課長
〃	健康福祉部障がい福祉課長
〃	健康福祉部健康課長
〃	子ども生活部児童青少年課長
〃	子ども生活部子育て支援課長
〃	子ども生活部すみれ教室所長
〃	環境・産業部環境保全課長
〃	環境・産業部公園緑地課長
〃	環境・産業部経済振興課長
〃	建設部住宅課長
〃	建設部交通安全課長
〃	都市計画部都市計画課長
〃	市民病院管理課長
〃	学校教育部教育総務課長
〃	学校教育部施設課長
〃	学校教育部指導課長
〃	学校教育部指導課教育センター担当課長
〃	生涯学習部社会教育課長
〃	生涯学習部スポーツ課長
〃	生涯学習部図書館長
〃	生涯学習部公民館長
〃	生涯学習部ひなた村所長
〃	生涯学習部大地沢青少年センター所長

( 3 ) 町田市子どもマスタープラン作業部会メンバー

【第一専門部会】

健康福祉部障がい福祉課  
子ども生活部児童青少年課  
学校教育部指導課  
生涯学習部社会教育課  
生涯学習部図書館  
生涯学習部大地沢青少年センター

【第二専門部会】

市民部男女平等推進センター  
健康福祉部健康課  
子ども生活部児童青少年課  
子ども生活部子育て支援課  
子ども生活部すみれ教室  
建設部住宅課  
学校教育部指導課教育センター

【第三専門部会】

市民部市民活動振興課  
健康福祉部福祉総務課  
子ども生活部児童青少年課  
環境・産業部公園緑地課  
都市計画部都市計画課  
生涯学習部ひなた村

## 4．町田市子どもマスタープランアンケート調査

### 1．次世代育成支援計画調査

	(対象件数)
就学前児童保護者調査 住民基本台帳抽出	1,800 件
保育所・幼稚園通園児保護者	1,300 件
小学1～3年の保護者 住民基本台帳抽出	900 件
学童保育所利用保護者	500 件

### 2．ひとり親家庭(母子・父子家庭)・国際結婚家庭の子育てアンケート

住民基本台帳より18歳未満の子どもがいるひとり親世帯抽出 4,878 世帯  
(一部聞き取り調査も含む)

### 3．子どもマスタープラン基礎調査

5 小学校の小学5年生13クラス 「子どものあそび環境についての調査」ワークショップ	371 件
6 小学校区の3～6年生とその保護者(住民基本台帳抽出) 児童用 「子どもの生活についての調査」 保護者用 「子どもを取り巻く環境の現状についての調査」	2,195 件
小学校PTA役員 「子どもの居場所、危険な場所の現状等に関する調査」	100 件
6 中学校区の中学2年生とその保護者(住民基本台帳抽出) 生徒用 「中学生の生活環境調査」 保護者用 「中学生を取り巻く環境の現状についての調査」	1,184 件
3 都立高校の高校2年生 「高校生の生活環境調査」	600 件
青少年施設等(5施設) 「青少年施設利用実態調査」	1,000 件

## 5 . 町田市子ども憲章

### 町田市子ども憲章の制定

#### 制定の経緯

町田市では、「青少年健全育成都市宣言30周年記念事業」の一環として、1996年5月、「町田市子ども憲章」を制定しました。

制定にあたって、「町田市子ども憲章」は子ども自身の声を反映した子どもと大人の合作にすべきであるという考えから、子どもと大人による子ども憲章実行委員会が組織されました。

当初、大人委員が考えた案について検討されましたが、議論が進むにしたがって、自分たち自身の言葉として考えると、この案文に違和感を覚えるという子ども委員の声が大きくなりました。

議論の末、「子どもたち自身による、子どもたちのための、子どもたちの憲章であるほうが良い」という考えから、子ども委員の意見を取り入れて白紙からの話し合いが始められ、短期間で集中的に検討し、「町田市子ども憲章」が制定されました。

さらに、この憲章を宣言だけで終わらせることなく、常にこの憲章を広く市民に知ってもらい、この精神を理解してもらえるような活動をすすめることが重要であると考えました。現在、「町田市子ども憲章」の精神は、子どもセンターで実践されており、地域活動の中でも生かされています。

#### 「町田市子ども憲章」をつくるにあたって

わたしたちは、青少年健全育成都市宣言30周年にあたり、誓いを新たにする。

今、子ども社会は詰め込み教育や個性を發揮しにくい環境など、さまざまな問題や矛盾の中にある。そこで、この憲章をとおして、子どもは自立に向けて努力し、自分の思いを大人に主張してほしい、大人は理想の子どもと現実の子どもの違いを知り、子どもの自立の支えとなってほしい。大人も子どもも自分を見つめ直し、もう一度よく考えてほしいと思う。この憲章は、その行動を起こしてもらうための指針として、子どもが中心となって起草した。

この憲章は、これを受ける一人ひとりが自分なりの新しい言葉をつなぎ合わせて、初めて生きたものとなるのである。

1996年5月 町田市子ども憲章実行委員会

## 町田市子ども憲章（1996年5月制定）

みんな自分に素直に生き、そしてお互いを認め合うそんな社会へ...

それは、みんながそれぞれの生き方を追うことができるということ。  
そして、他の誰とも違うかけがえのないわたしが、  
まわりのすべてのものとともに、生きるということ。

**人権尊重社会の実現**

すべての人には平等な権利がある。でも、自分勝手に行動するだけではない。

- 相手の立場になって気持ちを理解し、お互いを認め合える社会をつくっていきます。

**自主性の確立**

「自分から」。それがいちばん大切なこと。人にやってもらうばかりではだめなんだ。

- いつも楽しくなるように、  
- 自分の道は自分で切り開いていきます。

**個性の尊重**

人はみんな一人ひとり違う。みんなと違っててもこわくない。  
当たり前のことなんだ。だから、

- それぞれが持っている自分らしさを大切にします。

**命の大切さ**

いのちがあるのは人間だけではない。動物にも植物にもいのちがある。  
だから、

- みんなで助け合って生きていきます。

**学ぶ心の大切さ**

経験から学ぶことは、自分の可能性を広げる。むだなことなんてない。

- ものごとに前向きに取り組んでいきます。

**友情の大切さ**

世界中のどんな人でも、友だちはかけがえのないもの。

- いつも気持ちがわかり合える、そんな仲間。だから、  
- 仲間を大切に続けます。

**夢を追う気持ち**

現実にとらわれなくてもいい。わずかな可能性でも、

- 自分の夢を持ち続けます。

## 6 . 用語解説一覧

オンブズパーソン制度	「オンブズパーソン」は「弱い人の味方になって意見をいってくれる人」のスウェーデン語で、子どもの人権侵害に対し、助けてくれる制度
家庭福祉員	応急的入所待機対策として、保育者の居宅で少人数の低年齢児の保育を行う事業
ゲートウェイドラッグ	ドラッグ（薬物）使用から依存へと続く道への入り口
子どものショートステイ	保護者の方が、病気や出産、冠婚葬祭、家族の介護、または突然の事故などで一時的に養育が困難になった時に、2歳から小学6年生までのお子さんを預かる宿泊事業
子どものトワイライトステイ	保護者の方の帰宅が遅くなってしまう場合に、お子さんを夜10時まで預かる事業
子どものデイサービス	保育園の一時保育事業やファミリー・サポート・センター事業と同様に、地域の子育て支援事業として日中に子どもを預かる事業
子ども版 タウンミーティング	子どもの意見を市政に反映させる仕組みの一つ。子どもと行政が、双方向に直接意見交換を行う場
子どもマスタープラン	子どもに関する基本計画
子どもミュージアム	子どもたちが楽しく遊びながら、自然や科学、歴史・伝統文化という分野に触れ、子どもたちの思考能力を引き出すプログラム創出を目指す施設
合計特殊出生率	15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、ひとりの女性が一生の間に生む平均子ども数を表す
集いの広場	主に乳幼児を持つ親子が気軽に集い、語り合い、交流を図ることや育児相談を行う場を空き店舗等を活用して設置し、地域の子育て支援機能の充実を図る

都ハートビル条例	国のハートビル法(高齢者、身体障がい者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律)に加えて、対象建築物の追加、対象規模の強化などを行うことを規定した条例
特定保育事業	保護者の就労形態の多様化や子育てに配慮した働き方を選択することができるように、3才未満児を対象に週に2～3日程度、または午前か午後のみ等必要に応じて利用できる保育サービス
認証保育所	東京都が都市型保育ニーズに応えるため導入した制度で、都が独自の基準を定め、それを満たした施設を認証し補助するもの
ピアエデュケーション	大学生を中心に感染者の話を聴く等をとおし、感染症の予防教育を強化する取り組み
ピアカウンセリング	同じような環境や悩みを経験した仲間として行われるカウンセリング
ビギナーズママ	初めての子育てをしているおかあさん
ファシリテーター	子どもたちのチームワークを引き出し、そのチームの成果が最大となるような役割をもつ促進者
プレママサークル	母親になる前のおかあさん(妊娠期)のサークル
プレーリーダー	遊びの研修を積んだ遊びを専門的に支援するリーダーで、子どもの遊びの環境を整える役割をもつ。子どもの先輩ではなく、横に立って子どもとともに歩いていく人
ブックスタート	図書館職員やボランティア等により、保護者に本の紹介をおこない、子どもの本に関心を持ってもらうことを目的とし、絵本のリストを配布する事業
訪問型保育	保護者の疾病その他の理由により昼間家庭での保育に支障を生じた乳児につき、その家庭で保育、家事並びに養育等に関する相談及び助言を行う事業
幼稚園の預かり保育	通常の教育時間の前後や夏休みなどの長期休業期間中に、地域の実態や保護者の要請に応じて、当該園の子どもを預かる事業